

定例公安委員会の開催状況について

令和2年9月3日（木）に、第25回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 令和2年度9月補正予算の概要について

令和2年度9月補正予算の概要について報告があった。

委員のコメント

- 新型コロナ対策は、説明を受けて妥当な内容になっていると思った。その他の案件も含め、適切に運用して的確な警察活動を行ってほしい。
- 妥当な内容であり、有効に活用してほしい。
- 要求どおり補正予算案に計上されるということは、要求内容も妥当であったと判断する。

2 山形県迷惑行為防止条例の一部改正について

山形県迷惑行為防止条例の一部改正について、その必要性や改正内容等について報告があった。

委員のコメント

- これまで学校等で盗撮があっても摘発できなかったことが改正につながったと聞いていた。今度の改正で、公共の場所以外での規制も網羅されることになり良かったと思う。
- スマートフォンの普及によって盗撮が増えたことに対応した改正で妥当だと思う。パブリックコメントにもあったが、今後も技術が進歩して法律が追いつかなくなった場合、速やかに改正して世の中の要望に応じてほしい。
- 新たに規制された場所について、一般の方は、これまでも当然取締りができるものと思い込んでいたかもしれないので、齟齬をなくすべく整備したことは意味がある。今後も法の範囲から外れた想定外の事案が出てくる可能性があるので、その場合はできるだけ対応してほしい。

3 不正アクセス行為の禁止等に関する法律違反及び電子計算機使用詐欺事件の検挙について

不正アクセス行為の禁止等に関する法律違反及び電子計算機使用詐欺事件の検挙について報告があった。

委員のコメント

- 専門知識を利用してスマートフォンの扱いに不慣れな高齢者を騙す犯罪があることを再認識した。
- 本人があずかり知らない間に請求だけが来る今回のような犯罪は、今後増える可能性がある。今後も取締りを進めてほしい。

- 僅かな時間でこの種の犯行ができてしまうのは驚きだ。だんだん巧妙かつ大胆になってきたように思う。高齢者だけでなく知識のない人は業者に頼ってしまうので、業者に対する指導も必要になってくる。

4 元証券会社社員による詐欺事件の検挙について

元証券会社社員による詐欺事件の検挙、及び捜査に当たり若手捜査員の派遣型研修制度を活用した旨の報告があった。

委員のコメント

- 派遣型研修制度を利用して若い捜査員の育成を図ってほしい。また、被害者のためにも余罪を捜査してほしい。
- 顧客からお金を集め、自転車操業をして行き詰まった事案であり、会社側の管理にも疑問がある。派遣型研修制度を活用した事案として意味があった。
- 金融機関の地位を利用したこの種の犯罪は、チェックが難しいと聞いている。新手の手口があるかもしれず、機会があれば、派遣型研修制度を積極的に活用してほしい。

5 「山形県テロ対策パートナーシップ推進会議」総会の開催について

「テロを許さない街づくり」という理念の下に、関係機関、団体、事業者、地域住民が連携し継続的に各種テロ対策を推進する「山形県テロ対策パートナーシップ推進会議」の総会を、本年9月7日に開催する旨の報告があった。

委員のコメント

- 世の中でテロが起きやすくなっていると認識しており、こうした取組でテロを防止し、大きなイベントが無事に終わることを期待している。
- オリンピックで大きな脅威となるサイバーテロについては、万全な対策を継続してほしい。
- 例えば、昨今のメールによる爆破予告に伴う市町村の対応等が異なっているので、このネットワークを通じて確認することも必要だと思う。